

平成30年度天皇杯受賞者受賞理由概要
多角化経営部門

九条ねぎ需要開拓による農業活性化

○氏名又は名称 こと京都株式会社（代表 山田 敏之）

○所在地 京都府京都市

○出品財 経営（ねぎ）

○受賞理由

・地域の概要

京都市は、京都府南部に位置する府内最大の都市で、夏に雨が多く冬に少ないという気候と、三方を山に囲まれた地理的状況から、昼と夜との寒暖の差が大きいという特徴を有している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

山田氏は、33歳でUターン就農し少量多品目栽培による家族農業を営んでいたが、平成9年に京野菜のなかでも周年栽培可能な「九条ねぎ」に絞った経営に転換するとともに、その後、カット加工に取り組み、販路の開拓に尽力した。現在は、ねぎ等の生産を行う農産部や加工部等の4部門を組織し、常時雇用49名を含む従業員150名の経営体へと成長している。

・受賞者の特色

（1）需要に応じた加工体制強化による収益向上

取引先の要望等に応じ0.1mm単位でカット幅を調整できる機械を導入することで商工系カット業者には真似のできない加工を実現するとともに、乾燥ねぎや料理店のシェフと提携したねぎ油等の付加価値のある加工生産に取り組んでいる。

（2）生産者の組織化

こと京都では、ねぎ生産者団体「ことねぎ会」を立ち上げ、会員生産農家が策定した生産計画を基に契約を結び周年安定供給を目指すとともに、地域農業の振興にも寄与している。

（3）安定的な農業経営の実現

山田氏の農業経営では科学的な経営管理を取り入れており、PDCAを実践し続けることで企業としての持続的成長を実現している。また、GAP認証取得、HACCP管理に対応する大型加工場の設立等、安全・安心な供給体制整備に取り組んでいる。

（4）人材育成及び女性の活躍

こと京都では、新規就農者等を対象に「独立支援研修生制度」を設け、栽培技術だけでなく「農業経営者」としての育成に取り組んでいる。また、女性社員の管理職への登用等、あらゆる場面で女性の活躍推進を実践している。

・普及性と今後の発展方向

九条ねぎの需要開拓により、京都府内の九条ねぎの生産活性化に貢献している。今後とも、会員増強による生産の拡大、農家の収入安定化、地元雇用創出等、多角化経営のモデルケースとしての発展が期待される。